

大杉谷国有林からの手紙

31通目 ～大杉谷は山開きです～

大杉谷もようやく春を迎え、4月17日から1泊2日で「大杉谷登山道合同パトロール」が行われ、4月20日に山開きが行われました。

(合同パトロールについては、16通目で紹介しています。)

今回は、大杉峡谷を歩く大杉谷登山道について紹介します。

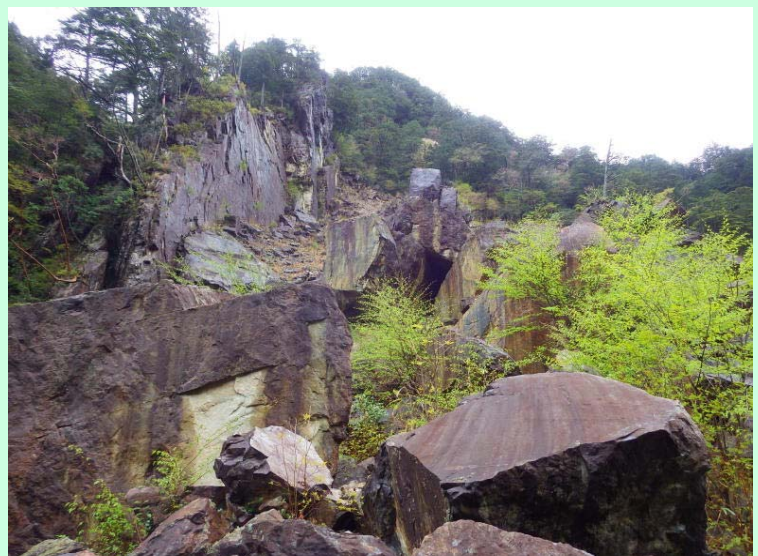
(1) 大杉谷登山道

大杉谷登山道は、三重県大台町大杉と奈良県大台ヶ原を結ぶ全長14.1km・高低差1415mの中級登山道です。大杉峡谷の7つの滝と11本の吊り橋を越え、原生林の森を抜けて大台ヶ原に至る、見所の多い登山道です。特に、七ツ釜滝～堂倉滝のエリアは、秘境大杉谷の深部です。しかしながら、登山道（特に宮川沿い）はアップダウンが激しく急峻な断崖にあり狭く危険であるので、十分な装備と慎重な行動が要求されます。事実、毎年数名の転落死亡事故が発生しています。



岩壁を削ってつくられた登山道（大日嵩周辺）

2004年の水害で通行不能でしたが、2010年10月から堂倉滝・七ツ釜滝間以外は通行可能になり、2012年8月から不通区間手前の栗谷小屋・桃の木山の家について林道迂回コースによる通行が可能になり、2014年4月に光滝付近の崩壊箇所の登山道が整備され、全線開通となりました。



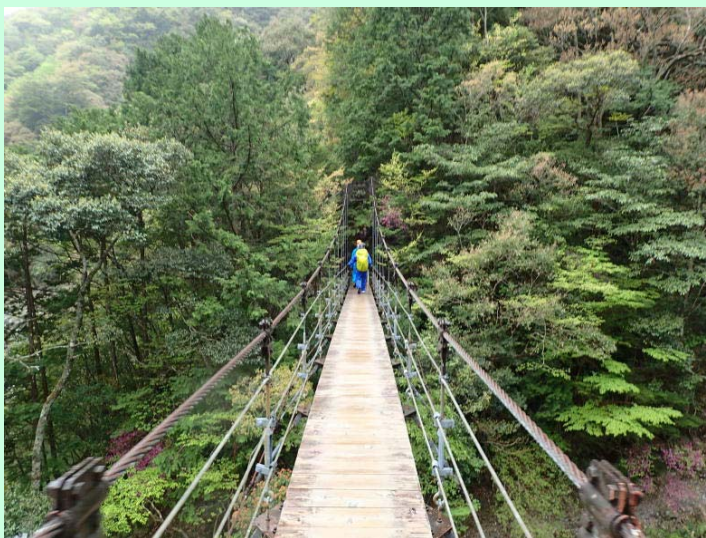
崩壊地も登頂欲をかき立てられる絶景

(2) 合同パトロールに参加した当署職員の感想

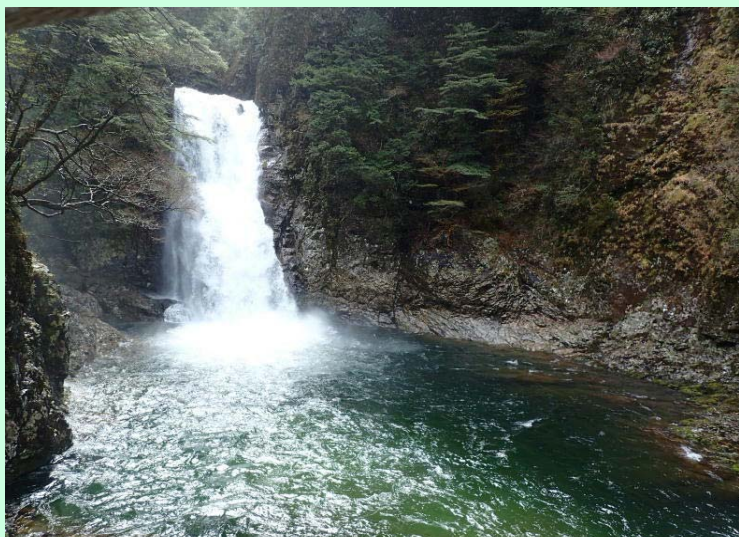
登山道に溜まった石や落ち葉を除去しながら、岩場をくり抜いた場所や吊り橋を何本も渡り1日目のゴール地点の桃の木山の家まで約7時間歩きました。危険な滑りやすい岩場などにはチェーンの手すりがあり、階段も腐りにくいコウヤマキやヒノキで作成するなど、景観に配慮しながら登山者への気遣いが行き届いていると感じました。

今回は1日目が雨だったため、堂倉滝は水量が多くて圧倒されました。

晴れの日々の堂倉滝も綺麗だと思っ



吊り橋を渡るのも楽しみのひとつ



雨が降り水量の多い堂倉滝

で、今回の合同パトロールで整備された大杉谷登山道を登って実際に見られることをお勧めします。

本年度も大杉谷の自然のこと、これからの取組みなど、お知らせしてまいりますので、よろしくお願いいたします。



春を彩るコバノミツバツツジ

発行: 三重森林管理署 尾鷲森林事務所 地域統括森林官